
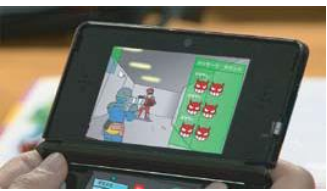


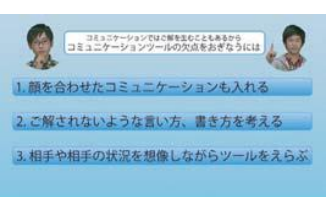



教材 13 うまく伝わったかな？

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>小学校6年生のひろしさんとかずやさんは、インターネット上での対戦ゲームを楽しんでいます。</p>
		<p>かずやさんが「怒り」のイラストのスタンプを送ったところ、ひろしさんはイライラし始めます。それぞれが何を考えているのか、分からないまま、二人とも「怒りのスタンプ」を送りあいました。</p>
<p>解説編</p>		<p>インターネットでのコミュニケーションは、お互いに顔が見えないため、相手の考えは推測するしかありません。特にスタンプのように、絵等で表現されたものは、送り手の考えを伝えられないことがあります。</p>
		<p>コミュニケーションツールには、それぞれの特徴、利点（良い点）と欠点（悪い点）があります。</p> <p>手紙：相手に届くのに時間がかかる反面、インターネットにつながってなくても書くことができ、自分の感情が伝わりやすい。</p> <p>電話：感情が伝わりやすく、インターネットにつながっている必要がないが、相手の時間を使ってしまうこともある。</p> <p>メール：相手の状況に左右されず、すぐに送信ができ、後で見返すこともできる反面、書き方によっては、感情が伝わりにくく、誤解を招くこともある。</p> <p>メッセージアプリ：相手がメッセージアプリのウェブサイトログインしていないとつながることがある。</p>
		<p>それぞれのツールの欠点を補うには、どうしたらよいでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔を合わせたコミュニケーションも入れる。 ・誤解されないような言い方、書き方を考える。 ・相手や相手の状況を想像しながらツールを選択。
		<p>お互いに気持ちが伝わるのが、コミュニケーションではとても大切なことです。相手の気持ちを思いやり、場合や相手に応じたコミュニケーション方法を考えていきましょう。</p>